

## 食材のその他の安全分析等の情報 H30-第4号

～自社分析(重金属、防カビ剤、着色料)の結果について～

### 3 月度・その他の安全分析結果(ご報告)

#### ☆重金属分析☆

重金属については、健康への影響が懸念されている事から、商品本部が新規に取り扱い検討している食材、及び商品本部が取り扱っている食材を対象に、総合科学新潟研究所が2品目を指定(品目・産地)して重金属分析を行いました。分析の結果、2品目全ての安全性を確認致しました。

#### ☆防カビ剤分析☆

商品本部が新規に取り扱い検討している食材、及び商品本部が取り扱っている食材を対象に、総合科学新潟研究所が4品目を指定して防カビ剤の分析を行った結果、4品目全て使用基準の範囲内であり、安全性を確認致しました。

#### ☆着色料分析☆

商品本部が新規に取り扱い検討している食材、及び商品本部が取り扱っている食材を対象に、総合科学新潟研究所が2品目を指定して着色料の分析を行った結果、発がん性等が指摘されているタール系合成着色料の検出はなく、大庄基準が守られていることを確認致しました。

庄やグループのお店で、安心して飲食を楽しんでいただきたいと思います。

#### <参考>

##### 【重金属分析】

- 重金属分析は、ヒ素、カドミウム、水銀、鉛を対象とし、ICP 発光分光分析法により分析を行っています。
- 重金属については、食品に対する国内の基準がないものも多いため、健康への影響を考慮し、国際的な基準に照らし、安全性を確認します。

##### 【防カビ剤】

- 防カビ剤分析は、国内で認められている7種類(オルトフェニルフェノール、イマザリル、チアベンダゾール、ジフェニル、ピリメタニル、フルジオキシソニル、アゾキシストロピン)を対象とし、ガスクロマトグラフ質量分析による一斉分析を行っています。
- 防カビ剤は、輸入かんきつ類等に多く使用されていて、大量に摂取すると健康への影響が懸念されていることから、食品添加物の残留基準に照らし、基準を超えていないかを確認します。

##### 【着色料】

- 国内で使用できる12種類のタール系合成着色料を測定対象として、薄層クロマトグラフィーにより確認をしています。
- タール系合成着色料は、国内では使用が許可されていますが、発がん性等の安全性に懸念があることから、大庄食品添加物基準では、使用不可としています。取り扱い食品からは、排除していますが、混入がないことを確認するため、調査します。

この報告書は、大庄総合科学新潟研究所がとりまとめております。

## 分析データ

### 1 食材の重金属分析結果

分析 株式会社大庄 総合科学新潟研究所

No.	品目名	産地	重金属			
			ヒ素	カドミウム	水銀	鉛
1	ミニトマト	千葉	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
2	鶏もも肉	ブラジル	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず

### 2 食材の防カビ剤分析結果

分析 株式会社大庄 総合科学新潟研究所

No.	品目名	産地	防カビ剤		
			検出防カビ剤	分析値 (g/kg)	使用基準 (g/kg)
1	バナナ	フィリピン	検出せず		
2	鶏もも肉	ブラジル	検出せず		
3	グレープフルーツ	アメリカ	オルトフェニルフェノール イマザリル	0.001 0.0003	0.010 0.0050
4	アボカド	メキシコ	検出せず		

※分析対象防カビ剤 7 種：オルトフェニルフェノール、イマザリル、チアベンダゾール、ジフェニル、ピリメタニル、フルジ  
オキシニル、アゾキシストロビン

### 3 食材の着色料分析結果

分析 株式会社大庄 総合科学新潟研究所

No.	品目名	加工地	タール系合成着色料
1	ぎゅうひ 赤	日本	検出せず
2	ぎゅうひ 青	日本	検出せず

※分析対象着色料 12 種：赤色 2 号、赤色 3 号、赤色 40 号、赤色 102 号、赤色 104 号、赤  
色 105 号、赤色 106 号、黄色 4 号、黄色 5 号、緑色 3 号、青色 1  
号、青色 2 号